

# 緑のまち



編集「北国分外環対策協議会」で検索  
市川市北国分 4-8-6 佐々木方  
TEL 047-371-9528  
<http://midori.kuuki.info>  
[ishitaka6648@gmail.com](mailto:ishitaka6648@gmail.com)

——北国分だより——

第120号 2017. 1. 20発行



迎 春



2017年



第22回森の音楽会 シカゴデュークス演奏風景



# 森の音楽会報告



実行委員会 佐々木陽子

昨年10月10日（体育の日）第22回森の音楽会を小塚山公園で開催致しました。前回の音楽会は、約1年前でしたが、その時は研修所内で行いましたので、森の中での開催は2年半ぶりの事でした。そのうえ秋の開催は初めての事で不安がありました。当日は曇り空でしたが、北国分や隣の中国分などから100人以上の方々が参加しました。

演奏に入る前に外環連合代表の高柳さんより、外環道路工事についてのお話がありました。「市川の町を南北に貫く外環道路は騒音や大気汚染などの環境問題が解決されていない状況で工事がどんどん進められている。ここ小塚山でもトンネル出口付近では騒音がひどくなり、森の音楽会を開くような環境ではなくなります。今、国や東日本道路会社に対して外環道路の供用開始の差し止めを求める申し立てを考えている。」ということでした。

プログラムの始めは、緑のまち合唱団のコーラス、そしてアンクルンの会の演奏が続きました。コーラスやアンクルン（インドネシアの民族楽器）演奏はポピュラーな曲や童謡などでみんな手拍子をしながら楽しく聞いていました。

メインプログラムはジャズ演奏でした。東京や矢切で演奏活動をしているグループ「シガゴデュークス」の皆さんでした。メンバーの多くは仕事をリタイア、第二の人生を楽しんでいるという事ですが最後まで素晴らしい迫力ある演奏でした。本場のジャズ曲をはじめとして日本のポピュラー曲もジャズ風にリズム感たっぷりの曲になっていました。リーダーの河上さんの楽しいお話や昔懐かしい歌などもあり、あっという間の1時間半でした。クラリネット・バンジョー・ベース・ドラム・ホルネット・ピアノそれぞれの楽器がみごとに重なり合いリズムを刻んでいくジャズの魅力が十分発揮された演奏会でした。

出演者をはじめ多くの人々に協力していただいて森の音楽会を開催することができました。会場では、たくさんのカンパもいただきありがとうございました。次回開催についてはこれから考えていこうと思っていますので御意見、御要望などありましたら御寄せ下さい。





# 「森の音楽会」に参加して



岸野 由美 (堀之内)

10月10日、北国分の小塚山市民の森で行われた「森の音楽会」。今回で22回目の開催となる同イベントは、毎年5月の新緑の頃にかかれていたそうですが、3年前から希少生物が営巣したことを受けて一時中断。希少種の子育てのお邪魔にならない秋に開催時期を移して、再スタートしたとのこと。

当日はあいにくの曇天で少し肌寒くはあったものの、緑生い茂る森の中に身を置くことは、満員電車で揺られて職場に通い、一日中パソコンと睨めっこする毎を送る者にとっては、まさに心のストレッチ。「伸び伸びと呼吸できてるな～」と感じながら、開演を待ちました。

そして、地元の方たちによって結成された「緑のまち合唱団」の歌声が響き始めると、なんと、「チチピー、チチピー」と森を訪れた鳥たちの鳴き声が……。自分たちの仲間がいると思って囀り出したのか否かは分かりませんが、それは嬉しいハプニングでした。

続いて披露されたのは、竹から作られた打楽器「アングルン」による演奏。私は初めて見る楽器でしたが、素朴なフォルムから紡ぎ出される優しい音色に、心癒された方も多かったのではないのでしょうか。後から調べると、アングルンはインドネシアの伝統楽器で、2010年にユネスコの無形文化遺産に登録されたそうです。

最後に登場したのは、ジャズバンド「シカゴデュークス」。ジャズは紫煙ゆらめく地下のバーこそ似合う——、という私の勝手なイメージを気持ち良いくらいに打ち砕いてくれました。その軽快な演奏に身を委ねていると、「森の小動物たちも楽しくステップを踏んでいるのでは」と思えてくる程です。

約2時間、閑静な森の中で“生演奏”を堪能させてもらった贅沢なひととき。この豊かな空間と時間がいつまでも続くことを願いながら帰路に着きました。

\*\*\*\*\*

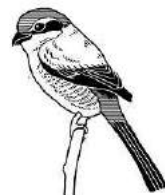
ご都合により森の音楽会に御参加されなかった方は、ホームページで動画をご覧になれます。

.....

音楽会大変お世話になりました。役員の皆様には格段のご配慮を頂き、厚くお礼申し上げます。拙い演奏でしたが皆さんに喜んでいただき、身に余る光栄です。これをご縁にこれからも宜しくお願い致します。

シカゴデュークス 河上 衛  
(松戸市下矢切)

# □探鳥会報告□



日時：平成 28 年 11 月 27 日（日）

天候：くもり

参加者：新谷 堀 三好 佐々木 鈴木 飯山  
石居 鈴木 中村 藤岡 越田 村岡 計 12 名

この鳥は？

ヒント：宮本武蔵

確認された鳥：ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ  
オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ  
カイツブリ キジバト アオサギ カワセミ アカゲラ  
オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ  
ヒヨドリ メジロ ハクセキレイ 計 20 種

コメント：曇っていましたが雨には降られずに済みました。林の冬鳥はまだ少ないようですが、メジロの大きな群れが飛びました。じゅん菜池では、ヒドリガモ、キンクロハジロなど揃ってきました。（村岡幸生）

\*\*\*\*\*

## 私の小塚山バードウォッチング その 3

飯山（北国分 2 丁目）

11 月 27 日（日）、天気は曇り。予報では、午後に雨が降ると言われていました。つい 3 日前の 24 日には観測史上初の 11 月の東京近郊の積雪が記録され、ここ市川でも数日間、寒い日が続きました。雪は融けましたが、本日は 12 月中旬の寒さの中でのバードウォッチングでした。

小塚山では、ヒヨドリを除いて、野鳥は姿を現さず、鳴き声のみの探鳥でした。幸い、小塚山からのじゅん菜池に移動の道すがら、メジロ、シジュウカラの群れを、じゅん菜池でカモの群れとカワセミを観察し、全 20 種の野鳥が確認できました。結果、始めに申告した私の発見種数予想が的中し、光栄にも 2017 年野鳥カレンダーを賞品にいただきました。ご参加の、みなさま、どうもありがとうございました。

小塚山近隣の外環工事も佳境に入ってきたようです。市川市のホームページでは、これから小塚山でも樹木の移植が進められると記載されています。また、矢切の土手から眺める高架橋は三郷へとすでにつながり、舗装を待つのみようです。工事が終了、開通し、数年後に車がたくさん通過することになっても、変わらず野鳥が訪れる公園であって欲しいと願っております。（2016 年 11 月）

# 「小塚山公園拡充予定地の整備を考える会」に参加して

小栗山敬子（北国分3丁目）

---

外環道路の工事が2018年3月供用開始を目指して、急ピッチで進められています。本体の高速道路部分は地下にある為見ることは出来ませんが、すでに完成し、歩道橋も出来、側道部分の整備にかかっているようです。

以前、この一帯は道免き谷津と呼ばれ、田んぼや葦の生える湿地帯でした。外環道路の工事が終わった後、堀の内貝塚と小塚山公園と小塚山アスレチックを結び、新しい「小塚山公園」として、拡充・整備する計画が進められています。

地域住民の参加を募集する案内を見て、応募してみました。14年前に会が立ち上げられたそうですが、その時の「小塚山公園づくりコンセプト」を見て、とても嬉しく期待が膨らんできました。

北西部の方から、上池を中心に湿地帯を残したサンクチュアリーゾーン、エコブリッジで小塚山公園と行き来できる広場ゾーン、図書室を備えた総合管理棟を中心とした中央施設ゾーン、野草園や水田もできる体験ゾーン等の計画案ができていたのです。

じゅんさい池緑地と緑の散策道で結び、『里山の自然を育み継承しながら、地域の全ての人々が安心して集い交流する「環境ふれあい公園」』をコンセプトにしています。こんなに自然がいっぱいの公園ができたなら、地域住民だけでなく、市川市民にとっても気持ちの安らぐ憩いの場になり、市川市の財産になるだろうなと思っていました。

ところが、3回目の話し合いでは、中央施設ゾーンとして計画されていた所は、トイレと駐車場だけになってしまったのです。施設を造っても管理する人を置く予算がないという理由のようでした。前回集会室を造っていただきたいという要望を出していたのですが、取り上げて貰えなかったのです。

地域の人々が安心して集い、交流できる場としては、小さくても良いのでぜひ集会室を造って頂きたいと思っています。「身近にこんな公園ができたなら、草取りをしたり、落ち葉拾いをしたり、ボランティアとしてお手伝いしてみたい。」という方もでてくるのではないのでしょうか。

コミュニティバスに乗って地域の公園巡りをしたり、買い物に行ったり、出かけるきっかけが増えるようになると高齢者も元気になり、もっともっと住みやすい街になるのではないかと思います。

2, 3年後、緑豊かな公園で集い、地域をかわいいコミュニティバスが走り、交通も便利になった北国分地域になる事を夢見て、楽しみにしたいと思います。

第3回ワークショップで提示された基本計画案  
 詳細は、ホームページからダウンロードしてください。

1. 基本設計案



## 北国分の野鳥 4

石居 隆行

始めに前回のウグイスについて復習したいと思います。11月の探鳥会で村岡先生に昨年6月頃、ここ北国分での近年稀にみる素晴らしい囀りについて、報告させて頂きました所、菅野周辺部でも同様にウグイスの美しい囀りが聞けたそうで市川市北部全域の現象のようでした。菅野ではホトトギスによる托卵も見られたそうです。前回お話ししましたとおり、一羽のウグイスが渡りながら囀るのではなく、数組の番（つがい）があちらこちらで鳴いているとの事でした。

昨シーズン同様、11月から小塚山付近の住宅地では、常にジョウビタキが鳴き、道免きでは、ツグミがムクドリの群れとは別に数羽点在しています。12月には、じゅん菜池でルリビタキの幼鳥を10分程観察できました。

北国分の野鳥から外れますが、夫婦仲の形容でオシドリ夫婦とありますが、実際にはそれ程でもなく、先日の探鳥会でじゅん菜池にカイツブリが見られ、カイツブリは非常に夫婦仲が良いとの事で、村岡先生から万葉集にも詠まれているお話がありましたので、ご紹介したいと思います。

にほ鳥の <sup>かづ</sup> 潜く <sup>いけみず</sup> 池水 <sup>あ</sup> 君に我が恋ふる <sup>こころ</sup> 情示さね

にほ鳥が潜る池の水よ、お前にこころがあるなら、私の恋い慕う気持ちを（水面に）示しておくれ。  
（大伴坂上郎女 万葉集 卷四 七二五）

にほ鳥の <sup>おきながかは</sup> 息長川は 絶えぬとも <sup>ことつ</sup> 君に語らむ 言尽きめやも

息長川はたとえ絶えてしまうことがあるとしても、あなたに語りたい言葉は決して尽きることはありません。  
（馬史国人 万葉集 卷二十 四四五八）

「にほとり」は、カイツブリの古名で、万葉集では、九首「にほとり」が詠まれています。潜水が得意なことから、「潜る（隠れる）」、「浮かぶ」、「息長川（息が長い）」などの枕詞として用いられていたようです。カモ類の群れの隙間に、時々現れてはさっと消え、数十秒潜っては、また別のところに現れる忍者のような動きを見せてくれます。 右：カイツブリ



### 次回の探鳥会

平成 29 年 2 月 12 日（日） 雨天中止  
集合 小塚山あずまや 10 時  
解散 じゅん菜池公園 12 時

どうぞお気軽にお出かけください。有れば双眼鏡、メモ帳をご持参ください  
※ 矢切地区は、平成 29 年 1 月 28 日（土）「野菊の墓」文学碑前 10 時集合

# 自民党憲法改正草案連続学習会のおさそい

こうのだい九条の会

12月13日米軍のオスプレイは沖縄県名護市沖に墜落、大破しました。事故原因の究明もなく、機体回収も終わらない中で、アメリカの「安全」のコメントで防衛相は「理解できる」と発言、事故からわずか6日で飛行再開しました。県民の生活と安全を無視した対応に県内では怒りの声がかまっています。憲法前文に「ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存することを確認する」とあります。危険なオスプレイや基地は、沖縄にも日本のどこにもありません。

2016年7月の参議院選挙の結果、「改憲」を進める自公与党とこれに同調する勢力は、衆・参両院で3分の2を占め、憲法改正の発議が可能となりました。

会はこのような危機的な状況を前に、自民党改憲草案のねらいと現憲法の違いを11月から連続学習会を開催しています。既に終了しているものもありますが、4月まで会事務局が報告し参加者から意見や疑問をだしあい、みなさんと一緒に「改憲」草案のなかみを学びあいます。ぜひ、ご参加ください。

松林（375）2925

## 自民党憲法改正草案連続学習会

2016年11月5日（土）	緊急事態条項	終了
2016年12月4日（日）	戦争放棄を安全保障に	終了
2017年1月22日（日）	国民の権利と義務	西部公民館 14:00~16:30
2017年2月	前文と天皇（予定）	
2017年3月	憲法尊重擁護義務（予定）	
2017年4月	草案の狙うところ（予定）	

☆☆

## 高齢者自らが健康増進と介護予防に取り組みましょう！

菅野順子（北国分2丁目）

“緑のまち”介護保険制度については、今回で3回目になります。2000年4月にスタートしたこの制度、15年を過ぎ制度の枠組み名称が昨年4月より変わりました。

①介護保険法、②介護予防法、新たに③介護予防日常生活支援・総合事業です。①～③の制度は現在でも実施されつつありますが、③の介護予防日常生活支援・総合事業（総合事業）に触れてみます。



新聞マスコミ報道で良く耳にする「2025年問題」、団塊の世代と言われる人々が75才を迎える頃、日本は超高齢社会に達します。“3.8人の若者が1人の高齢者を支える時代”私達夫婦もこの世代で、80才代、90才代になっても出来る限り子どもの世話にならないよう元気でいたいと思っています。

この地域（北国分、堀の内）では平成26年末に行った国勢調査の結果で65才以上の高齢者数は人口比との割合で25%を超えたとの事でした。

総合事業のテーマになっている

1. 個人々々が自立（自律）の意識をもつこと。
2. 地域で支え合うしくみをつくっていくこと。

言葉では簡単ですが、行動を起こすには時間が掛かります。

現在外環工事の一環で進められている“道免き谷津”の公園づくりについて、市川市と地域住民との話し合い「ワークショップ」が、昨年8月から12月まで3回行われ、1月が最終との事でした。地域住民が気軽に集まって交流する場所、“体操したり”“おしゃべりしたり”“物を作ったり”“調理をしたり”そんなコミニティ会場を是非造って欲しいと思います。

\*\*\*\*\*

新春詠 (里山俳句会)

四世代の絆結びし春着帯 井澤 禎子

屠蘇祝う一年の無事願う朝 宇佐美てつ子

新年を独りで迎え三十年 小野てる子

すこやかな年を迎えし目覚めかな 笹沼 裕司

初日記ジャズ聴く予定書き込みぬ 原 美智子

鶏旦や旧姓行き交ふ集ひなり 山本 愛子

地球儀に虫めがね寄せ去年今年 三好ひろし

句会は、毎月第四土曜日、一時から。

会場は、北国分一丁目いきいきセンターです。

どうぞお出かけ下さい。次回は、二月二十五日(土)の予定です。

## 緑のまちあれこれ

- 小塚山の迂回路がほぼ完成形になりつつあります。危惧していたとおり、交互通行できる幅員となり、現状では歩行者や自転車よりも車優先の計画になっています。夏には若者が深夜大型スクーターで乗り付け、エンジンをかけながら音楽を大音量で流すようになりました。
- 道免き谷津公園整備においては、エコブリッジとは名ばかりで、小塚山から土盛りされた道免きに連結橋（おそらく鉄筋コンクリート構造）が架かります。小塚山住民として反対しましたが、平成14年時の首都国側の決定事項で、既にどうすることも出来ませんでした。それ以外では比較的要望は取り入れられたと思います。豪雨時の調整機能をもった池、北総線汲み上げ地下水を利用した浅いせせらぎ（縦貫する小川）、地域のイベント活用及び防災機能をもった広場の確保、土盛り部分以外はなるべくフラットとし谷津の原風景を残す等。今回担当の造園設計事務所は、努力されたと思います。有志の方々によるヘイケボタル復活計画もあります。皆さんが期待している交流の為の集会場については、常駐管理人の予算が無い等で市川市は逃げ腰です。それでは市庁舎に200億円以上使う事には、どう説明するのでしょうか。30年以上前、自宅前でオニヤンマが旋回し、裏口にミヤマクワガタが留まり、道免きで蛙ゲゴゲゴ、脇の森でフクロウが鳴いたとまではいかないにしても、この整備計画で少しでも自然が戻ることを祈ります。
- 日頃森を歩いて気づくことは、下草がきれいに刈られてしまってスカスカになっている事です。自然環境系の市民グループの方々との話の中でも、生物にとっては問題であると皆さんおっしゃいます。また住民のクレームに対して、市川市は簡単に大きな樹木を伐採しています。かつては樹木を伐採する際には、様々な手続きを経て、なかなか簡単に伐採できないはずでした。小塚山を含めた風致地区を首都国道側が平然と行ってきたこの外環工事期間の間に市川市も感覚が麻痺し、実際にこの工事で環境破壊をしたという事実が市川市を腰抜けにし、変節させたのではないかと考えます。下草・樹木伐採に関しては、堂々と“生物多様性いちかわ戦略”を策定した市川市は、早急にガイドラインをつくり周知徹底することを強く望みます。
- 編集後記 ■ 皆さん新年あけましておめでとうございます。今年は酉年です。1月から3月は絶好のバードウォッチングの季節です。毎年お正月は、美しい鳥に出会います。皆さんも、この北国分で綺麗な野鳥に出会って幸せな気分浸ってください。見るも無残な残土置場と化した道免きですが、綺麗に整備されるといいですね。編集のデジタル化も悪戦苦闘しながら、がんばっております。飯山さん毎度ありがとうございます。原稿はワードデータで戴けると助かります。私が時々覗く「戦争体験放映保存の会」サイト・ツイッター興味ある方御覧になってください。90歳以上の先輩方のお話が多数あります。(T.I)